

生涯を完結でききるまちづくり

新年あけましておめでとぅございませう

市民の皆様には、平成25年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今年^みは巳年です。

蛇にまつわる話は多くありますが、蛇の夢は縁起が良いとされ、蛇の皮は金運に恵まれるともいわれています。

また、欧米では商業・医学の神として尊重されており、これはギリシア神話に登場する医術の神アスクレピオスの持っていた、蛇が巻きついたりつえなどに由来するとされています。蛇の絵柄は、世界保健機構をはじめ、病院・大学・救急車などのマークで広く用いられています。巳年にあやかり、市民の皆様が今年一年健康でありますことを願っております。



成田市長
小泉一成

また、巳年は十二支の6番目に当たりますが、私も任期の折り返し地点を迎え、3年目のスタートとなりました。今年も本市のさらなる飛躍と発展のため、全力を尽くしてまいります。

成田空港を

核にしたまちづくり

成田空港は、昭和53年に開港し、今年で35年目を迎えます。年間発着枠30万回への容量拡大が進む中、昨年は成田を拠点にしたLCC（格安航空会社）の相次ぐ就航と新たな国内線施設の整備、都心と空港を結ぶ直行バスの新規参入もあり、空港機能の充実やアクセスの向上が図られました。

また、成田空港利用者の利便性の向上も確実に進められていることから、「利用される空港」から「誰もが利用したい空港」づくりを目指し、空港と地域の共生・共栄に努めてまいります。

しかし、30万回への発着枠の拡大は、新たな航空機騒音の影響を生じさせることとなり、発着回数増加に伴う体感騒音の拡大など、生活環境の悪化も懸念されます。騒音対策につきましては、今後も騒音地域の方々の声をお聞きしながら、関係機関と連携して取り組んでまいります。

また、空港のポテンシャルを活かしたまちづくりも急務であることから、その優位性を活かし、今後成田の魅力を積極的に国内外に発信してまいります。

従来から取り組んでいる「成田ブランド」の推進については、新たな魅力を含め、市全体の資源に磨きをかけ、さらなるブランド力の向上を図るとともに、映画・ドラマなどのロケの誘致を進める「成田ロケーションサービス」などによる戦略的な情報発信に積極的に取り組んでまいります。

次に、駅前の再開発を進める「JR・京成成田駅中央口地区整備事業」については、既に再開発ビルの建設に着手しており、平成26年度の供用開始を目指して、安全で快適な都市環境の創出と、国際空港都市成田の顔にふさわしい駅前整備を進めてまいります。

福祉施設の充実

子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、子育てに負担や不安を抱く方が増えています。

このため子育て支援対策として、児童ホームの増設や、建設後相当の年数が経過している公立保育園の大規模改修などを実施し、保育環境の整備を進めることにより、児童の受け入れ枠を拡大し、待機児童の解消を図ってまいります。

また、本年7月の開設を予定している「公津の杜複合施設」には、図書館、200人を収容できる多

目的ホール、市民ギャラリーなどと合わせて、子育て支援センターを設置し、子育てしやすい環境の整備を進めてまいります。

次に、高齢者(70歳以上の方)の移動手段として、昨年度から実証実験を進めている「オンデマンド交通(乗合型タクシー)による移送サービス」については、これまでの運行時間や運行日、乗降場所の設定に加え、市内全域での運行を検討してまいります。

商工業の振興

長引く景気の低迷や震災・原子力発電所の事故の影響などにより、市内小売業者などの経営も厳しいことから、その対策として、消費者の消費需要を喚起し、市内小売

業などの販売促進と地域経済の活性化を図るため「プレミアム付商品券」の発行を検討してまいります。

さらに、観光キャラクター「うなりくん」と、昨年制作・発表した歌と踊りを活用し、国内外へ向けて成田のシティーセールスを強化し、観光誘致に積極的に取り組んでいきます。

また、本市の経済の活性化と市民雇用の拡大を図るため、昨年、

は老朽化し、手狭となっていることから、成田ニュータウン内の商業施設を活用し、新たに高齢者などの活動施設を整備してまいります。この施設を通じて、高齢者の方々のサークル活動、老人クラブ活動などに幅広く利用いただき、健康や生きがいづくりに役立てていただきますと考えています。

今後とも、安心して子どもを産み育てられるまちづくり、高齢者の方々が生きがいを育めるまちづくりを進めてまいります。

「企業誘致条例」を改正しました。その内容は、新たに市内に本社を置き常用雇用者が100人以上で操業開始する事業者に対して、市民の雇用人数に応じて助成金を交付するなど拡大を図ったものであり、今後さまざまな機会を通じて制度のPRを行い、企業誘致に努めてまいります。

中小企業支援としては、新たに事業を興すための創業資金、事業転換資金などに対し、融資や利子補給が行えるよう、制度の拡充を検討してまいります。

住民サービスの向上

住所の異動や戸籍の届け出など

については、さまざまな手続きを1つの窓口で行える「総合窓口」を開設するとともに、平日に窓口へ来られない方々のために、休日窓口サービスを毎週日曜日に開設したことから、窓口の混雑も緩和され、待ち時間の短縮も図られたところであります。

本年はさらなる窓口サービスの向上を目指し、住民基本台帳カードを利用して、コンビニエンスストアで住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄本などが取得できる「証明書コンビニ交付事業」を導入してまいります。

また、地域の安全対策としては、市民の方々が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図る一環として、防犯カメラを順次増設してまいります。

本年も、市民のニーズを的確に捉えた施策を実践する中で、本市のさらなる発展と成田市市民13万人一人一人の幸せを目指し、温かみと優しい思いやりをもった「住んで良し、働いて良し、訪れて良し」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちづくりの実現に取り組んでまいります。

市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさついたします。